

鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年6月検出分；検体採取 令和5年5月～6月)

令和5年7月14日
鳥取県衛生環境研究所

1 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について、検査を行ったところ、ノロウイルス1件、サポウイルス2件、A群ロタウイルス1件、C群ロタウイルス1件、アデノウイルス2件、アストロウイルス3件、エンテロウイルス3件が検出された。(詳細は表1のとおり)

検出されたアデノウイルスのうちの1件は5型(C種)であった。C種は扁桃に持続感染し、小児の糞便中に間欠的に排出されることが知られており、検出されたウイルスと感染性胃腸炎との因果関係ははっきりしなかった。また、エンテロウイルスのうち2件はコクサッキーA2型であったが、コクサッキーA群はヘルパンギーナの原因ウイルスとして知られており、エンテロウイルス感染としての性格上、回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがある。現在ヘルパンギーナが流行していることから、ウイルスが感染性胃腸炎とは無関係に検出された可能性も考えられた。

4検体のうち3検体から複数のウイルスが検出され、全てのウイルスについて感染性胃腸炎と因果関係ははっきりしないものの、混合感染による胃腸炎の可能性が示唆された。

表1 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230011	5月中旬	(-)	検出 (Ct値27)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値40)	(-)
230012	5月中旬	検出 (Ct値28) G II.4	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値41) 型不明	検出 (Ct値17)	検出 (Ct値28) コクサッキーA2型
230013	5月中旬	(-)	検出 (Ct値27)	検出 (Ct値37)	検出 (Ct値26)	検出 (Ct値23) 5型	検出 (Ct値27)	検出 (Ct値28) コクサッキーA2型
230014	5月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値26) コクサッキーB5型
検出計		1件	2件	1件	1件	2件	3件	3件

(-)：未検出

※Ct値が20未満、20以上30未満、30以上の3区分で色分け(Ct値が低いものが濃色)をした。

2 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件(検体採取5月上旬(検体番号230009))について、アデノウイルスの検査を実施したところ、アデノウイルス54型が検出された。

3 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体1件(検体採取6月上旬(検体番号230010))について、エンテロウイルスの検査を実施したところ、コクサッキーB5型が検出された。